

活動内容
メンバー紹介

KYOURYOKUTAI WORKS

協力隊ワークス vol.6

伊藤めぐみ隊員 3年間の任期を終え、 今月末で卒業します

問 交流定住センター：0867-44-1031
交流定住推進課：0867-42-1179



伊藤さんと3年間の活動を通して発行した中和新聞

本当に恵まれた 三年間でした

11月末で3年間の任期を終え、真庭市ではじめて、地域おこし協力隊の卒業生となる伊藤隊員。

これまでのこと、これからのことを尋ねたところ、「真庭の方々はみんな良い人ばかりで、本当に恵まれた3年間でした」と振り返りながら、語ってくれました。

「家庭菜園やガーデニング、生け花など、もともと植物に囲まれた環境で育ってきました。だから心が落ち着く、ここ真庭の自然のなかで働きたいと思い、協力隊に応募しました」

ただ、蒜山中和地区の担当になってすぐは、想像を超える豊かな自然に圧倒されたそうです。中和に向かう途中、サルの大群と遭遇して驚いたり。感動と同時に、獣害被害の現実も目の当たりにしました。

デザイナーとして 草木染め職人として

1年目はデザイナーとして、パンフレット「ゆ

るか中和」の制作に協力。取材、執筆編集、レイアウトデザインなどを行いました。「大変でしたが、地域の方々と知り合えたこと、中和のことも知ることができて、後の活動に大きな影響を与えました」と伊藤隊員。そのときに制作したパンフレットは、今も活用されています。

また、中和地区に配属されてまもなく、「協力隊新聞」の発行を開始。魅力の再発見を目的に、取材と執筆を毎月つづけてきました。

2年目からは、かねてよりお手伝いしていた「ゆるるか草木染めクラブ」の方々と一緒に、草木染



▲中和での地元学活動サポート

真庭は 良い人ばかりです

デザイナーとして、草木染めの職人として、また隊員第1号として、真庭市の地域おこしをしてきた伊藤隊員。これからのことを尋ねると、「真庭は良い人ばかりで、まわりの方に恵まれた3年間でした。そんな皆さんとこれからも関わっていたい。つながりが途切れてしまうのは寂しい。だから、これからもデザイン

デザイナーとして、草木染めの職人として、また隊員第1号として、真庭市の地域おこしをしてきた伊藤隊員。これからのことを尋ねると、「真庭は良い人ばかりで、まわりの方に恵まれた3年間でした。そんな皆さんとこれからも関わっていたい。つながりが途切れてしまうのは寂しい。だから、これからもデザイン

伊藤隊員は、「これから」に目を向けた、充実感と感謝でいっぱい表情をされていました。皆さん、これからも伊藤隊員をよろしくお願いします。



文・甲田智之



▲草木染め体験ワークショップ



健康のススメ

肺炎球菌ワクチンについて



お話：勝山病院 院長 竹内義明さん 問 TEL0867-44-3161

ワクチンの接種を受けて肺炎を予防しましょう

肺炎球菌とは

肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。肺炎球菌は主に小児の鼻や喉に住み着き、咳やくしゃみによって周囲に飛び散り、それを吸い込んだ人へと広がっていきます。身体の抵抗力（免疫力）が低下している人などが、感染すると肺炎球菌感染症になることがあります。肺炎球菌を持つている成人はごく一部（日本人の約3〜5割の高齢者に菌が常在していると考えられています）で、また肺炎球菌による肺炎は、小児と触れ合う機会が多い成人ほどかかりやすいという報告もあります。こうしたことから成人の肺炎球菌感染症は、主に小児に住み着いている肺炎球菌が原因であると考えられています。

肺炎球菌による肺炎

肺炎はわが国の死亡原因の第3位となっています。また、日常的に生じる成人の肺炎の原因菌で最も多いのは肺炎球菌であり、4分の1から3分の1を占めています。肺炎で亡くなる方の95割が65歳以上であることから、特に高齢者では肺炎球菌による肺炎などを予防することが重要になります。

定期接種の実施

平成26年10月1日から、肺炎球菌ワクチンによる高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種制度がはじまっています。定期接種とは、「予防接種法」という法律に基づき市町村が実施する予防接種です。高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種は、インフルエンザの定期接種同様、法的な義務はありません。接種を希望する方のみ接種を行うものです。

定期接種の対象

平成31年3月31日までの間に、65、70、75、80、85、90、95、100歳になる人、もしくは60歳以上65歳未満の人で、「心臓、腎臓、呼吸器の機能に、身体障害者手帳一級相当の障害」や「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に、日常生活がほとんど不可能な障害」がある人は、肺炎球菌ワクチンの定期接種をその年度内に1回受けることができます。対象の期間に市町村の契約医療機関で接種を受ける場合、公費の

肺炎球菌ワクチンって？

肺炎球菌には90種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「23価肺炎球菌ワクチン」は、そのうちの23種類の血清型を予防の対象としたワクチンです。この23種類の血清型は、平成25年には成人における侵襲性肺炎球菌感染症の原因の約6割を占めるとい研究結果があります。

過去に「23価肺炎球菌ワクチン」を接種したことがある人は定期接種の対象とはなりません。また、新たに承認された「13価肺炎球菌ワクチン」は、平成28年4月1日時点では定期接種に使用できません。ただし「13価肺炎球菌ワクチン」を接種したことがある場合でも「23価肺炎球菌ワクチン」の定期接種を受けることができます。

接種後の注意事項

肺炎球菌ワクチンを接種した後には、接種部位の症状（痛み、赤み、腫れなど）、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。接種後に気になる症状や体調の変化があらわれた場合は、た、たちに医師にご相談ください。

助成が受けられません。また、対象の期間に接種しなかった場合や対象外の方は、任意接種となり、全額自己負担で接種することができます。

作家との交流、もの作り楽しむ 勝山町並み体験クラフト市2016

どふと まにわ 真庭 まちの話題



糸紡ぎに挑戦する人たち

作家や職人に習いながら作品作りを体験できるイベント「勝山町並み体験クラフト市」が10月1日と2日に開かれました。4回目の今年は、紙漉きやガラス細工、染め物など、39の団体や個人による59のプログラムが用意されました。訪れた人たちは作家や職人に教わりながら真剣にももの作りに挑戦。子ども向けのワークショップもあり、子どもたちやそれを見守る家族の楽しそうな笑顔も見られました。

昔話をカラクリで再現 いよしの里備中津井カラクリ祭り

いよしの里備中津井カラクリ祭りが10月8日と9日に開かれ、会場のなかついで陣屋帯には、桃太郎や浦島太郎など昔話の一場面を再現したカラクリ人形が設置されました。この催しは、地域住民でつくる中津井やまびこ会が企画し、今年で3回目。カラクリは水車を利用して動く仕組みで、全て会員の手作りです。訪れた人たちは、工夫を凝らしたカラクリと水車で動くその音を聞きながら祭りを楽しんでいました。



カラクリ人形に見入る人たち



会場にずらりと並んだ文化作品

地域に広がる文化の輪 落合まちかど展覧会

落合地域のさまざまな場所に、地域の人たちが作品を展示する「落合まちかど展覧会」が、9月25日から10月2日まで開かれ、公民館や店舗、民家など46会場に、木工や陶芸、絵画など多彩な文化作品が展示されました。身近な人の作品を見ることができ、「こ近所美術館」として始まったこの展覧会は、作者と来場者のコミュニケーションの場にもなっており、今年も笑顔と文化の輪が広がっていました。

9/24 適度な運動と楽しい会話で

落合総合公園で岡山県グラウンドゴルフ協会の創立30周年を記念した美作ブロック大会が開かれました。大会には、真庭市や津山市などから約550人が参加。参加者はプレーを通じて交流を深めていました。



10/1 事故防止の願いを込めて

勝山野球スポーツ少年団が真庭警察署前で交通安全の啓発活動を行いました。啓発グッズと一緒に、「安全運転を心がけてください」という言葉をかけ、ドライバーたちは交通安全への意識を高めていました。



10/9 舞踊と芝居で地域に元気を

栗原神社の秋祭りに合わせて、焼芝コミュニティハウスで焼芝一座の40周年記念公演が開かれました。会場には市内外から約250人が訪れ、約4時間にわたる舞踊や芝居のステージを楽しみました。



10/10 蒜山の美しい秋を楽しんで

秋の紅葉シーズンに向け、観光客を気持ちよく迎えようと、蒜山地域で合同清掃活動が行われました。商工会や観光協会の会員らが参加し、道端に落ちている空き缶やタバコの吸い殻などを拾い集めました。



10/17 兄弟も長生きだったんです

近藤瑞子さん(多田)が、10月16日に百歳を迎えられました。バランスの良い食事をするのが長寿の秘訣という近藤さん。週6日デイサービスに通い、自宅ではテレビを見ながらゆっくりと過ごされています。



秋晴れの下でにぎわったコスモスまつり

10月9日、上水田のコスモス広場で北房コスモスまつりが開かれ、訪れた人たちは、色とりどりのコスモスやステイジイベントなどを楽しみました。今年の開花は少し遅れ気味でしたが、会場では咲き始めた花を愛でながら写真に収める人の姿も見られました。また、同時開催されたコスモスウォーキングには約1000人が参加。北房振興局から会場までの沿道に咲くコスモスに時折足を止めながら、健康づくりも楽しみました。

たくさんの笑顔も咲く
北房コスモスまつり



中国勝山駅にやってきた記念列車

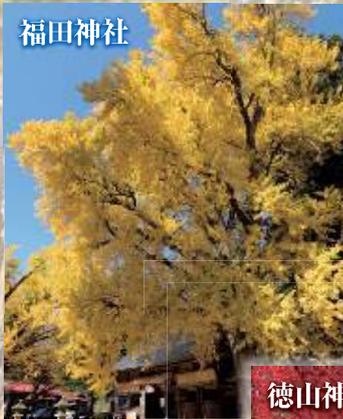
10月10日、JR姫新線が全線開業80周年の節目を迎え、これを記念して沿線の観光地をのんびりと楽しむ「アスタルジートレイン」が運行されました。中国勝山駅では列車の到着に合わせて、地元の見物客によるおもてなしが行われ、駅舎ではお土産の販売や勝山のシンボルの「のれん」を展示が行われました。また、町並み保存地区の散策も行われ、訪れた人たちは風情あふれる勝山の魅力を楽しんでいました。

姫新線の80周年を記念
アスタルジートレイン運行

真庭の秋、深まる色

秋も深まり、市内各地で紅葉が見ごろを迎えます。この秋、紅葉スポットめぐりはいかが？

福田神社



徳山神社



木山寺



神庭の滝



まにあのスキッ!!

●編集後記

スポーツクライミングが東京五輪の種目となって注目を集めていることもあり、湯原クライミングセンターが親子連れや若者で連日賑わっています。私も利用していますが、お勧めは市内外の楽しい常連さんが集まる平日晩。これから涼しくなり最適な季節です。皆さんも一緒に楽しんでみませんか？ 升本

息子とコスモス広場に写真を撮りに行きました。僕が夢中でコスモスを撮影していると、何やら後ろから気配が。振り返ってみると、コスモスを撮らずに僕のお尻を撮ろうとしている息子が…。ちなみに、僕の写真はフェイスブックに載せていますので、興味のある人は覗いてみてください。 横山

広報真庭の意見や感想をお寄せください

広報真庭についてのご意見・ご感想をお寄せください。記事内容、文章、用語・用字、レイアウトなど広報紙に関することなら何でも結構です。今後の広報紙づくりの参考にさせていただきます。皆さんのご意見・ご感想をお待ちしております。 問 秘書広報課 横山・升本 TEL7-42-1163 (FAX1353)



感想や意見をお寄せいただく際は、同封しているハガキをご利用ください。